

雪燈籠

松下 幹生

大晦日 除夜の鐘の音 聴きながら
氏神さまに お詣りに
雪一面の 参道を
雪燈籠の 淡い灯 (ともしび) 点々と
道行く先を 照らし出す
雪積む郷の 宵詣で

燈籠の 真横を通る その度に
姿が浮かぶ 親子連れ
父にじゃれつく 幼児 (おさなご) の
はしゃぐ姿が 微笑 (ほほえ) ましくて 目を細め
鳥居をくぐり 境内の
巖 (おごそ) かな気に 身を晒 (さら) す

年越しの あなたと詣 (まい) る 初詣で
焚き火の火の粉 冬花火
夜空に飛んで 昇華する
新しい年 迎える為の お詣りで
新たな想い 年女
無病息災 願います